Machining JP 新産業メディアコア

メールマガジン (2011年8月号 Vol.14)

(発行所)(株)エルエルアイ出版

〒 103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館 7 階 TEL 03-3868-0738 MX 03-5809-3650 http://www.lli-publishin.g.com/

ロイコ・ジャパン最新マシン

ドイツ・ロイコ社 (Leuco) のツーリング技術を日本の木材加工産業に紹介、普及しているロイコ・ジャパン(株)(有谷保美社長)は9月17日、栃木県宇都宮市で切削デモ見学会を実施し、画期的な切削システム・ダイアP-システムをはじめとするツーリング技術を提案した。

ロイコ・ジャパンの見学会は午後1時30分、埼 玉県、群馬県の木材加工ユーザー4社からの関係 者が栃木県宇都宮市の平石地区市民センター(宇都 宮市下平出町158-1)に集合し当日紹介するダイア P-システムとトリボスについて説明を聞いた。

ダイアP - システム (p-System) は 55 度を超える 大きなリード角によりナイフで切るように切削す る新しいシステム (2010 年に特許を取得)で、今年 のリグナ展でロイコ社が発表した最新技術。切削 の概念を従来の鋸加工 (sawing)、プレーナー加工 (planing)、フライス加工 (milling) からピーリング加 工 (peeling) に転換する新しい切削方式で、エッジ ライフが長く、刃物交換による機械のダウンタイム を削減するなど、次のような特徴をもっている。

▽木材やクロス合板を仕上げカットしサンディン グ等の後工程を省略する。

▽クロ方向のカットで抜け側端部に欠けのない良 好な仕上げを行う。

▽抜け側にエッジテープの貼ってある場合も欠け のない仕上がりができる。





